

科目名	ビジネスマナー				
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	×		
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>組織、お客様、取引先などと良好な人間関係を保ちつつ、仕事の成果をあげるためにビジネスマナーを身につける。</p> <p>また、9月に受験をする社会人常識マナー検定に向けて、過去問題は宿題で行い、合格点に達しない学生は補講を行い、合格できる準備を整える。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	社会人常識マナー検定に合格できる、ビジネスマナーを身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社ウイネット 実践ビジネスマナー 公益社団法人全国経理教育協会 社会人常識マナー検定試験				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	仕事に取り組む心構え	P8-12 教務室入退室・書類の提出の仕方チェック			
2	報告・連絡・相談、会社の組織	P13-16 指示を受けて業務を遂行し報告するロールプレイング			
3	基本動作、言葉の遣い方	P18-30 お辞儀・椅子の座り方チェック			
4	受付の仕方、名刺の渡し方	P32-40 受付ロールプレイング			
5	取り次ぎの仕方、案内の仕方	P41-48 受付→応接室案内ロールプレイング			
6	応接室の案内の仕方、お茶の出し方、環境整備	P49-56 お茶出しロールプレイング			
7	電話の受け方、伝言メモ	P55-69			
8	電話のかけ方	P70-76 インターンシップ確認電話ロールプレイング			
9	慶事業務	プリント			
10	弔辞業務、お見舞い	プリント			
11	社内で使用する備品、郵便の取り扱い	プリント			
12	ビジネス文書とは、社内文書作成の仕方、メールの送り方	プリント PC(スマホ)でメール作成送信添削			
13	社外文書作成の仕方	プリント PCで社外文書作成提出添削			
14	お礼状の作成の仕方	プリント 直筆でお礼状作成提出添削			
15	期末試験				
16	期末試験、解答・解説				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。		積極的にロールプレイングに取り組み、提出物の期限は守ること。 インターンシップ前後に行う電話がけやお礼状作成など、マニュアル通り行えないことを理解し、臨機応変に対応できるように毎日の学校生活でもビジネスマナーを意識すること。			
実務経験教員の経歴					

科目名	PC実習 I				
担当教員	安達 秀子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	Excelの理解を深め、自信をもって活用できる基本技能を身につける 日本語文章入力のある程度の速さで、正確に行えるようにする Wordの理解を深め、活用できる基本技能を身につける				
学習目標 (到達目標)	Excel表計算処理技能認定試験 3級 取得 Word文書処理技能認定試験 3級程度の知識及び技術の習得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Excel2021 クイックマスター 基本編 Excel2021問題集 Word2021 クイックマスター 基本編 Word文書処理技能認定試験 3級問題集				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1 Excelの基本 Chapter2 データの編集	画面構成、用語の確認 範囲選択 文字の入力、数値の入力			
2	Chapter2 データの編集 ●問題集 練習問題1【問題2】(1)～(3)	日付の入力、オートフィル、数式、合計関数、相対参照・絶対参照、コピー・移動			
3	Chapter3 表の編集 ●問題集 練習問題2【問題2】(1)～(3)	セルの書式設定、表示形式			
4	Chapter7 関数	基本関数の意味と使い方(平均、最大、最少、データの個数、順位)			
5	Chapter8 データベース機能 ●問題集 練習問題1【問題2】(4)～(6)、【問題3】 ●問題集 練習問題2【問題2】(4)～(6)、【問題3】	並べ替え、フィルター			
6	Chapter5 グラフと図形の作成 Chapter6 ブックの利用と管理	グラフ作成・編集、ワークシート名の変更、シートコピー			
7	Chapter4 ブックの印刷 ●問題集 練習問題1 完成	ページ設定、グラフ作成・編集の基本、スパークライン			
8	●練習問題2～3	解説誘導しながら 答案解答作成			
9	●練習問題4～5	各人のペースで解答 巡回してチェック・ポイント解説			
10	●練習問題6～7	〃			
11	●練習問題8～9	〃			
12	●練習問題10、模擬問題2	〃			
13	●模擬問題3～4	〃			
14	●模擬問題5～6	〃			
15	●試験実施プログラム 模擬問題1	前問題振り返り 時間計測して実施、解答ファイル採点			
16	検定				
17	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1 Wordの基本	授業の目的の理解 Windows基本操作、基本知識の重要性			
18	Chapter2 文字の入力と編集の基本操作 Chapter3 文書の編集	日本語入力の基本操作の確認 正確な入力の重要性、コピー・移動の状況に応じた方法			
19	Chapter3 文書の編集	Wordにおける段落書式の重要性			
20	Chapter3 文書の編集 Chapter4 文書の印刷	C2～3で学習した内容を該当設問で確認			
21	Chapter5 文書の作成	タブ機能の重要性の理解、タブ設定とタブ挿入の理解 ルーラーの重要性の確認			
22	Chapter6 表を使った文書の作成	表作成・編集の基本の理解、操作に応じたりボンの確認 C4～6で学習した内容を該当設問で確認			
23	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成	オブジェクト作成・編集操作の基本の理解			
24	練習問題 1	QMで学習した機能を確認しながら設問解答 実用目的の成果物として完成させる			
25	練習問題 2～	「作成」ファイルと「編集」ファイルの保存の必要性、名前を付けて保存と上書き保存の理解の重要性			
26	練習問題	完成確認後、各自で次の練習問題に進む 練習問題2「編集」の確認と疑問点などの確認・回答			
27	練習問題	〃			
28	模擬問題	〃			
29	模擬問題	〃			
30	試験実施プログラム 模擬問題	プログラム操作方法・試験の流れの確認 画面配置に慣れる。解答ファイル採点			
31	試験実施プログラム サンプル問題	前問題振り返り 時間計測して実施 解答ファイル採点			
32	期末試験/検定	検定必須受験学科(飼育、DT、ビジネス、飼育ケア)は検定受験			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		パソコンスキルはどの業界へ就職しても必須となります。パソコンの基本的な操作の仕方、表計算やデータを利用した簡単な資料作成の方法をしっかりとマスターしましょう。授業中に分からない事や上手く出来なかった事は休み時間を利用して練習をしましょう。			
実務経験教員の経歴	一般向けパソコン教室において20年以上関わっていた				

科目名	コミュニケーション実践Ⅰ				
担当教員	曾我 李桜		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>対面交流場面における「話す」行為において、相手の状況を正しく理解した上で、自分の意志を目的や場面に応じた適切な表現でわかりやすく示し、効果的に相手に伝えることを学ぶ。</p> <p>社会人常識マナー検定3級の合格を目指すために、対策授業を行い、合格点に達しない者は補講を行う。対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>周囲の人と「話す」こと、「聞く」ことによって円滑なコミュニケーションをとることができる。</p> <p>社会人常識マナー検定3級の合格ができる。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社サーティファイ 社会人常識マナー検定公式ガイドブック&問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	コミュニケーションを考える、目的に即して聴く		P2-9		
2	傾聴・質問する		P10 -14		
3	目的を意識する、話を組み立てる		P15-22		
4	言葉を選び抜く		P23-29		
5	表現・伝達する		P30		
6	来客応対		P36-39		
7	電話応対		P40-43		
8	アポイントメント・訪問・挨拶		P44-48		
9	情報共有の重要性、チームコミュニケーション		P49-59		
10	接客・営業、クレーム対応		P60-71		
11	会議・取材・ヒアリング、面接		P72-82		
12	模擬問題		P84-99		
13	過去問題①		P100-115		
14	過去問題②		P116-131		
15	過去問題③		P132-148		
16	検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>					
実務経験教員の経歴					

科目名	就職実務Ⅰ				
担当教員	曾我 李桜		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかりと理解した上で就職活動を進めていく。</p> <p>身だしなみセミナー、求職登録面接、就職研修、インターンシップを通して、翌年（翌々年）の就職活動を意識する。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>就職活動の心構えと流れを知ることができる。</p> <p>自分と職業を理解することができる。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	求職登録面接とは何か、求職票作成の仕方		プリント		
2	インターンシップとは何か、インターンシップ申込書作成の仕方		プリント		
3	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる		プリント		
4	求職票作成、自己PR作成、面接練習①		個人作業		
5	求職票作成、自己PR作成、面接練習②		個人作業		
6	求職票作成、自己PR作成、面接練習③		個人作業		
7	求職票作成、自己PR作成、面接練習①		個別作業		
8	求職票作成、自己PR作成、面接練習②		個別作業		
9	求職票作成、自己PR作成、面接練習③		個別作業		
10	身だしなみセミナー、求職登録面接		女子メイクセミナー、男子身だしなみセミナーを受講 求職登録面接を受ける		
11	企業研究の仕方、志望動機の書き方		プリント		
12	企業研究の仕方、志望動機の書き方		個人作業		
13	履歴書作成、志望動機作成①		個別作業		
14	履歴書作成、志望動機作成②		個別作業		
15	インターンシップ日誌の作成の仕方		個人作業		
16	就職研修		インターンシップに向けての心構えと問題事例、また今後の就職活動に向けての心構えを学ぶ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>			<p>書類作成や面接練習をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。面接練習は必ず事前に準備をしておくこと。</p>		
実務経験教員の経歴					

しつけトレーニング実習					
科目名	しつけトレーニング実習				
担当教員	金子 真弓		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科		対象学年	1	開講時期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	1.犬のトレーニング実践を行う。 2.実際の道具やデモンストレーションを見る。 3.テキストやホワイトボードを使用し内容を説明。				
学習目標 (到達目標)	正の強化と負の強化を使ったトレーニング方法を理解し、実行できるようになる 犬と関わる上での必要な事や必要な物を理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	犬の問題はこうして直す「THE Tool Box」				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	・犬の観察・しつけとは？、問題行動とは？飼い主にとって好ましくない行動⇒好ましい行動として肯定文として説明				
2	・リーダー、アルファとは？上下関係、主従関係×、パピーの船酔いについて、所有欲について ・おもちゃで遊ぶことについて ・リードの持ち方、近くでフード、近くを歩く、回す	テキスト使用			
3	・飼い主の手を良いものに学習させる ・「ビーナッツバター療法」でケア時に条件付け、マズルコントロール、アルファロール× トレーニング⇒回す、オスワリ、フセ（誘導で）	テキスト使用			
4	・ケージ/クレートに関して（何故ケージが必要か？） ・オスワリ、フセ、ダテをそれぞれの姿勢から誘導 ・オスワリ⇒ダテ、オスワリ⇒フセ、フセ⇒ダテ	実際の道具を見せる、トレーニングの方法をデモンストレーション			
5	・犬を家族として迎え入れる前に準備するモノは？ ・名前を教える、アイコンタクト、近くを歩く	実際の道具を一部見せる			
6	・犬を家族として迎える前に準備しておきたいコトについて ・どんな犬？成犬or子犬orオスorメス、犬種など ・実習：コングを作る（中に食べ物を詰める）、回す、横につける、アテンションなど				
7	・ストレスについて 3つの下、カーミングシグナルについて ・実習：立ち方について（パトラス良く立つ、犬側の肩に立ち犬側を向くこと）	テキスト使用			
8	・犬の行動問題について：原因は？犬種の特徴、身体の不快、先天的な要因、社会化不足などについて ・実習：Tタッチ、立ち位置（犬の肩の辺りに立ち、犬側を少し向く）、リードの持ち方				
9	・学習理論：報酬はランダムにしてい、誘導から合図をつける ⇒ハンドシグナル ・回す、オスワリ⇒フセをハンドシグナル、マッテ				
10	・ドイレトレーニングについて ・ハンドシグナルでオスワリ、フセ、回す、マッテ、Tタッチ	DVD鑑賞			
11	・合図を教えるトレーニングについて				
12	・嫌悪刺激を使ったトレーニング⇒ほめる（モチベーションを使った方法） ・自発的アイコンタクト、左右にご褒美を持った手を移動させてトレーニング				
13	セルダウン：飼い主の足で大人しく落ち着く（フセの状態）、マグネットトレーニング：誘導とは異なり、全てのトレーニングの特	足元でフセのトレーニングのデモンストレーション			
14	・ボデイランゲージ、カーミングシグナルについて ・呼び戻し、近くを歩く（人がボール役になり、8の字で歩く）	DVD鑑賞			
15	・古典的条件付け（拒否条件付け、逆条件付け）、正の罰について罰とは？：嫌悪刺激 ・古典的条件付けでブラシ、手、ハンドタオルで触れる刺激に慣らす				
16	・散歩の引っ張りについて（ジェントルリーダー、ハルティ、イージーウォークハーネスについて）	実際の道具を見せてデモンストレーション			
17	・シェーピングについて（人だけでクリッカーの練習）	トランプを使用して、人同士で練習			
18	・動画鑑賞：パピークラス、フリースタイルなど ・実習：クリッカートレーニング、犬がイスの上に前足を乗せる、イスの下に頭を入れる	モニターより動画鑑賞（実際の教室の様子など）			
19	・Tool Box：健康、環境を豊かにする、リーダーシップ、管理、安眠、原因を取り除く、系統的脱感作、ご褒美を取り除く ・ハンドシグナルのトレーニング（オスワリ、フセ、回す）	テキスト使用			
20	・Tool Box：否立しない行動にご褒美を与える、慣らす、関連付けの改善、嫌悪刺激、Tool Boxを使って、問題を解決を考える（8組に分かれて）、実習：呼び戻し	テキスト使用			
21	・シェーピング（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング：クリッカー配布				
22	・シェーピング②（クリッカートレーニング、基準が大きい場合は細かく分ける） ・人同士でクリッカートレーニング、犬でのシェーピングデモ：イスの下に頭を入れる				
23	・シェーピング③（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬にクリッカーでトレーニング				
24	・シェーピング④（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬にクリッカーでトレーニング（オスワリ、フセでクリックする）				
25	・シェーピング⑤（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬のクリッカーでトレーニング（イスの下に頭を入れる）				
26	・シェーピング⑥（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬のクリッカーでトレーニング（イスの下に頭を入れる続き）				
27	・犬の本能：食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用、食べ方が強い（痛い）犬のトレーニング、おもちゃ遊びデモ ・行動に合図を付ける				
28	・犬の本能：食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用、食べ方が強い（痛い）犬のトレーニング、おもちゃ遊び				
29	・古典的条件付け、拒否条件付け、脱感作について				
30	・オペラント条件付けについて				
31	・呼び戻しについて				
32	・トリーツをランダムにしてルアーを無くすトレーニングについて				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
レポート提出100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	しつけインストラクターとして25年以上活動、「PUPS FRIENDS」主宰				

科目名	人と動物の関係学				
担当教員	山崎 恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	現在、国際的に動物愛護がどのように進んでいるのか？日本の現状は？今後取り組んでいく課題は何なのか？を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	日本や世界の動物業界の現状や動物福祉のあり方について理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物の代弁者になることについて				
2	真の動物愛護とは				
3	ブリーディングの問題				
4	飼い主の責任				
5	動物の死とペットロス				
6	シェルターワーク				
7	動物虐待				
8	災害時の動物				
9	犬のデイケア				
10	犬猫の行動学				
11	Tタッチ理論				
12	Tタッチ実践		特別講義		
13	動物愛護教育				
14	動物保護活動				
15	期末試験				
16	エコ・ツーリズム				
17	動物愛護法				
18	アニマル・エシックス（実験動物・産業動物）				
19	アニマル・エシックス（展示動物）				
20	アニマル・エシックス（補助犬）				
21	安楽死とペットロス		特別講義		
22	動物愛護法と動物の福祉		特別講義		
23	期末試験				
24	動物との共生				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての授業に出席し、かつ毎回のテーマごとにレポートを提出すること。		
実務経験教員の経歴	一般社団法人アニマル・リテラシー総研理事				

科目名	AAA概論 I				
担当教員	山崎 恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、 授業の進め方	動物介在活動と動物介在療法の基本を理解する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	一般社団法人アニマル・リテラシー総研が提示するプログラム課程を理解することができる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	一般社団法人日本動物福祉協会 どうぶつのもち				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	AAAとは				
2	AATとは				
3	定義の重要性①				
4	定義の重要性②				
5	医療チームとは				
6	動物の適性①				
7	動物の適性②				
8	AATを活用する現場の種類				
9	QOLとは				
10	リハビリテーション①				
11	リハビリテーション②				
12	エイズとAAT				
13	ヒポセラピーとRDAの違い①				
14	ヒポセラピーとRDAの違い②				
15	期末試験				
16	人獣共通感染症				
17	介助犬とユーザー				
18	日本の現状と諸問題①				
19	日本の現状と諸問題②				
20	日本の現状と諸問題③				
21	安楽死と飼い主対応		特別講義		
22	動物福祉と動物愛護法		特別講義		
23	期末試験				
24	日本の現状と諸問題④				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての授業に出席すること。		
実務経験教員の経歴	一般社団法人アニマル・リテラシー総研理事				

科目名	AAA実習Ⅰ				
担当教員	青木 和孝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係と心理学的および社会的側面から理解する。 また、動物介在活動を安全に実施するにあたり必要な配慮やリスク管理を理解する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	人と動物の調和に関わることを学ぶことができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	職員作成パワポ資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	人と動物の関係の歴史		パワポ資料		
2	人と動物の関係のなりたち		パワポ資料		
3	人と動物の絆について		パワポ資料		
4	動物が人に及ぼす影響について		パワポ資料		
5	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育の定義		パワポ資料		
6	動物介在療法の事例紹介		パワポ資料		
7	動物介在活動の事例紹介		パワポ資料		
8	動物介在教育の事例紹介		パワポ資料		
9	参加動物の選別基準		パワポ資料		
10	参加動物に適した育成方法の選択		パワポ資料		
11	さまざまな人と動物の関係		パワポ資料		
12	AAIにおける人獣共通感染症のリスク		パワポ資料		
13	ストレスの把握とストレス管理		パワポ資料		
14	訪問活動に向けて		パワポ資料		
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			科学的なエビデンスに基づいた人と動物の相互関係の理解。動物福祉を考慮した参加動物の選別とトレーニング法の選択を理解する。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として20年勤務中				

科目名	AAA総論				
担当教員	本間 亜胡		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	AAA、AATについて理解することを目的に、訪問活動に必要な様々な技術を実践形式で行い、日々の生活でも活用できるよう身に付ける。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●訪問活動に必要なコミュニケーション技術を身に付けることができる ●訪問活動に必要なハンドリングを理解し、実行することができる 				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	[参考] 緑書房 動物看護の教科書 第1巻、教員作成資料				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	授業概要の説明、好きな動物、嫌いな動物				
2	AAA、AATとは				
3	AAA実習の流れ、活動VTR				
4	他己紹介インタビュータイム、他己紹介発表				
5	水平思考とは				
6	水平思考クイズ				
7	カーミングシグナルについて				
8	犬の観察				
9	犬の抱き寄せ				
10	リードの持ち方、扱い方、クレートの扱い方				
11	犬と仲良くなるには？				
12	犬と仲良くなるには？				
13	猫と仲良くなるには？				
14	振り返り				
15	期末試験				
16	まとめ				
17	WaNファミリーを知ろう♪				
18	WaNファミリーのプロフィールデータ確認				
19	WaNファミリーの紹介カード作成				
20	WaNファミリーの紹介カード作成				
21	WaNファミリーの紹介カード作成				
22	Myペットの紹介カード作成				
23	Myペットの紹介カード作成				
24	Myペットの紹介カード作成				
25	コミュニケーションゲーム				
26	高齢者施設でのレクリエーション				
27	高齢者施設でのレクリエーション				
28	高齢者施設でのレクリエーション				
29	AAA実習についておさらい				
30	振り返り				
31	期末試験				
32	まとめ				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> ・犬の観察に行き観察シートとその感想をまとめたレポートで成績評価をつける。 ・授業の取り組み状況や精華を成績評価とする。 		AAA/AAT/AEそれぞれの区別をまずは理解させるため、実際の動画をを用いて視覚的にも正しい理解を求めめる必要がある。また、動物の扱いも初めての学生が多いため、見本を見せてから行う。ただ、同部へへの負荷がかりすぎないように注意する。			
実務経験教員の経歴	ドッグラン運営などのペットサービス企業で5年勤務				

科目名	飼養管理士総論				
担当教員	曾我 李桜		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期、後期前半
必修・選択	必須	単位数	5	時間数	78
授業概要、目的、授業の進め方	動物が「命」あるものとし、「人と動物の共生」が必要となっている。そのための動物種の生態、管理や飼育方法について知識を身に付ける。また、動物に関連する法理についても学ぶ。 愛玩動物飼養管理2級の合格に向け、授業を行っていく。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	動物に関わる法律を理解し、動物種の生態・飼育方法をアドバイスできるようになる。 愛玩動物飼養管理士2級の取得。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩動物飼養管理士2級教本				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	鳥類について 形態的特徴、飼養管理（インコ、オウム）		単元が終了した時点で必ず確認テストを実施		
2	鳥類について 飼養管理（フィンチ、ニワトリ、アヒル、ハト）				
3	鳥類について 繁殖				
4	鳥類について 確認テスト(見直し)				
4	からだの仕組み からだの成り立ち、栄養・酵素を取り入れる				
5	からだの仕組み 老廃物の排出、情報を取り入れる、情報伝達				
6	からだの仕組み 確認テスト				
7	愛玩動物飼養管理士の社会活動				
8	愛玩動物飼養管理士とは				
9	愛玩動物飼養管理士について 確認テスト				
10	動物愛護論Ⅰ 海外と日本について				
11	動物愛護論Ⅰ 動物愛護運動について				
12	動物愛護論Ⅰ 確認テスト				
13	人と動物の関係学①				
14	人と動物の関係学②				
15	人と動物の関係学 確認テスト				
16	前期期末テスト				
18	動物生活環境学(適正な環境、ペットツーリズム)				
19	動物生活環境学(ペットとのルール、マナー)				
20	動物生活環境学(災害対策、保険)				
21	動物生活環境学 確認テスト				
22	過去問題				
23	対策問題				
24	後期期末テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップで販売スタッフとして6年勤務				

科目名	エキゾチックアニマルⅠ				
担当教員	菅井 光代		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期後半
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	現在飼育されている動物は、犬猫だけではないため、生体の特徴、飼育方法を理解する。販売に携わる際には、飼育方法をアドバイスできるようになる。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	愛玩動物飼養管理士2級合格。飼い主に飼育アドバイスが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩テキスト2巻				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ウサギ 飼養管理				
2	ハムスター 飼養管理				
3	モルモット 飼養管理				
4	フェレット 飼養管理				
5	チンチラ 飼養管理				
6	犬猫分類、歴史				
7	犬、猫の特徴				
8	犬猫と暮らす、環境				
9	犬猫のライフサイクル①				
10	犬猫のライフサイクル②				
11	犬猫の社会化				
12	しつけについて				
13	犬猫の毎日の生活 食事				
14	犬猫の発情、健康管理				
15	テスト+(解説)				
16	解説				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護助手として1年勤務				

科目名		動物関係法規			
担当教員	菅井 光代		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期後半 後期前半
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>動物取扱現場及び、公衆衛生、環境関連の動物関連の法規について理解を深め、動物福祉と安全な社会づくりに貢献する専門職として順守の精神を養う。</p> <p>愛玩動物飼養管理士2級合格へ向けて、検定出題範囲の関連法について理解を深める。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>愛玩動物飼養管理士2級合格</p> <p>動物に関連する法規範と倫理を理解することで、動物取扱業者における業務を円滑に行えるようにする。</p> <p>法規範に基づく疾病予防等の飼い主義務について飼い主への助言が出来るようになる。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	<p>パワーポイント、レジュメ 愛玩動物飼養管理士2級第1巻</p>				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物関連法令を学ぶ意義、日本の法令体系		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
2	動物愛護管理法の概要と基本原則、飼い主の責任		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
3	動物の飼養・保管に関する基準		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
4	動物取扱業者①		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
5	動物取扱業者の責務		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
6	動物取扱業者②、虐待と罰則、		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
7	特定動物、愛護管理法の普及啓発		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
8	動物愛護推進員と犬猫の収容		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
9	周辺的生活環境の保全		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
10	愛護法振り返りテスト		動物愛護法について振り返りテストの実施		
11	狂犬病予防法		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
12	身体障害者補助犬法		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
13	ペットフード安全法		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
14	鳥獣保護法、ペット業界の現状とこれからの課題		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
15	鳥獣保護法、ペット業界の現状とこれからの課題		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。</p>			<p>本科目は愛玩動物飼養管理士2級合格に必要な法規範の知識を習得する。授業で配布する資料についても熟読が必要。</p>		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護助手として1年勤務				

動物飼育実習Ⅰ					
科目名					
担当教員	佐山 恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	<p>実習前座学：実習前に必要な知識を伝え、なぜ行うのか理由から方法を覚えられるようにする 実習：座学で得た知識を実践する。到達目標を細かく刻み、自信を持ってもらう。 掃除においてはインターンシップと基本となる項目。 動物を触るだけが、仕事ではないため、率先して動ける人材へ。 対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	個別別の生活様式から正常と異常を見極め、適正な動物飼育ができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動物看護実習テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アレルギー調査、実習スタイルについて、飼育室の出入り方法		教員が見本となる、実習室への見学		
2	消毒や手洗いの実施について、犬について (PD、テキスト)		理由を明確に伝え納得させる、犬の触れ合い		
3	猫について (PD、テキスト)、管理帳の記入の仕方について		管理帳見本を配布し記入させる、猫の触れ合い		
4	小動物 (ウサギ、モルモット、ハムスター) について		自作プリントを配布、小動物の触れ合い		
5	飼育室の見学 (物の配置確認)、掃除の仕方、洗濯方法		先輩に指導を受ける、メモをとる		
6	病気の予防や診察について、日誌の書き方		日誌を実際に書いてもらう		
7	実習前の総確認、小テスト		実習に必要な技術を見直す		
8	フィードバック		覚え直し		
9	(実習) 犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (犬) への接触方法、管理方法を学ぶ		
10	(実習) 猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (猫) への接触方法、管理方法を学ぶ		
11	(実習) ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (ウサギ) への接触方法、管理方法を学ぶ		
12	(実習) モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (モルモット) への接触方法、管理方法を学ぶ		
13	(実習) ハムスターの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (ハムスター) への接触方法、管理方法を学ぶ		
14	(実習) 犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (犬) への接触方法、管理方法を学ぶ		
15	期末試験 (筆記)		正しい知識を覚えているか		
16	フィードバック		間違えたままにせず、確認を行う		
17	(実習) 犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (犬) への接触方法、管理方法を学ぶ		
18	(実習) 猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (猫) への接触方法、管理方法を学ぶ		
19	(実習) ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (ウサギ) への接触方法、管理方法を学ぶ		
20	(実習) モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (モルモット) への接触方法、管理方法を学ぶ		
21	(実習) ハムスターの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (ハムスター) への接触方法、管理方法を学ぶ		
22	(実習) 犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (犬) への接触方法、管理方法を学ぶ		
23	(実習) 猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (猫) への接触方法、管理方法を学ぶ		
24	(実習) ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (ウサギ) への接触方法、管理方法を学ぶ		
25	(実習) モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (モルモット) への接触方法、管理方法を学ぶ		
26	(実習) ハムスターの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (ハムスター) への接触方法、管理方法を学ぶ		
27	(実習) 犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (犬) への接触方法、管理方法を学ぶ		
28	(実習) 猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (猫) への接触方法、管理方法を学ぶ		
29	(実習) ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (ウサギ) への接触方法、管理方法を学ぶ		
30	(実習) モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (モルモット) への接触方法、管理方法を学ぶ		
31	期末試験 (筆記)		正しい知識を覚えているか		
32	フィードバック		間違えたままにせず、確認を行う		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			飼育経験のない動物もいることから、接触方法や飼育管理方法の違いについて習得し、実践する。苦手意識が出ないよう、わからないことをそのままにせず先輩や先生に質問し、自信をつけていく。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として9年勤務				

科目名	動物飼育実践Ⅰ				
担当教員	新潟市動物ふれあいセンター	実務授業の有無	○		
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	新潟市動物ふれあいセンターで現場スタッフの一員として展示動物と譲渡対象動物の飼育管理方法を学ぶ。また、お客様への対応を学ぶ。 1人あたり：90分×1コマ座学+実習180分×2コマ実習 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	展示動物、譲渡対象動物の飼育管理や展示の仕方を知ることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	新潟市動物ふれあいセンターについてセンター長より講義	WaNにて座学			
2	新潟市動物ふれあいセンターでの実習（うさぎ・モルモット）	現場での飼育管理実習			
3	新潟市動物ふれあいセンターでの実習（アルパカ、羊・山羊）	現場での飼育管理実習			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		回数が限られた現場での実習なので欠席をすることがないようにする。			
実務経験教員の経歴	企業へ委託				

科目名	解剖・生理学				
担当教員	東海林 愛実		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物の体の基本構造やはたらきをまず理解した上で、各組織での検査や代表的な疾患を把握する 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●動物の体のしくみやはたらきを理解することができる ●各組織における検査の種類や手技、代表的な疾患を把握し、ケアすることができる 				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	緑書房 ビジュアルで学ぶ 動物看護学[第2版]、緑書房 ビジュアルで学ぶ 伴侶動物解剖生理学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業概要、体の基本構造について		伴侶動物解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
2	外皮系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
3	運動器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
4	神経系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
5	感覚器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
6	感覚器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
7	循環器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
8	循環器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
9	呼吸器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
10	上部消化器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
11	下部消化器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
12	泌尿器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
13	内分泌系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
14	生殖器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			動物病院での実習や勤務を想定し、動物の体の基本構造から検査や疾病、看護師としての仕事も併せて履修する。 解剖生理学は難しい分野ととられがちなので、現場での経験などを踏まえながら、より身近に感じられるように意識する。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として13年勤務				

科目名	動物栄養学Ⅰ				
担当教員	川口 和清		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物の健康維持に必要な栄養素を学び、その基礎知識を活用して各論の学習に進む準備のため、まずはイヌとネコの六大栄養素についての知識を、動物の生理学に立脚した栄養学を総論として学び、様々なペットフードやパンフレットに記載されている専門用語を理解し、飼い主に適切な栄養相談および指導を行う際の基礎知識を習得する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	栄養学総論に基づいて、注意すべき食材を知り、必要エネルギー量の指導ができ、イヌとネコに必要な栄養素の違いが説明でき、ライフステージ別の栄養指導ができることを目的として学習する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	(株) インターズー発行 ビジュアルで学ぶ動物看護学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物栄養学総論		テキスト、資料を使用		
2	基礎栄養学		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
3	基礎栄養素 水、タンパク質①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
4	基礎栄養素 タンパク質②		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
5	基礎栄養素 炭水化物、脂肪		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
6	基礎栄養素 ミネラル、ビタミン		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
7	イヌとネコの栄養要求の違い①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
8	イヌとネコの栄養要求の違い② ライフステージ別の栄養管理①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
9	ライフステージ別の栄養管理②		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
10	ライフステージ別の栄養管理③		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
11	ライフステージ別の栄養管理④		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
12	ライフステージ別の栄養管理⑤ ペットフードの表示の見方①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
13	ペットフードの表示の見方② BCS評価とカロリー計算の仕方①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
14	BCS評価とカロリー計算の仕方②		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
15	ペットフードの種類		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
16	まとめ		まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			解剖生理の復習、小テストを実施し、理解度を確認する。		
実務経験教員の経歴	ペットフードメーカーにおいてフード開発に携わる				

科目名	公衆衛生学				
担当教員	東海林 愛美		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	各種微生物の基礎知識の習得、及び消毒・滅菌について理解をし、感染症についての知識を身につける 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	各種微生物の基礎知識の習得、及び消毒・滅菌について理解をし、感染症についての知識を身につける。また、ワクチンについて飼い主に説明できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ビジュアルで学ぶ動物看護学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	公衆衛生学を学ぶ意義 感染とは		テキスト、資料の使用		
2	微生物 微生物とは、原虫		テキスト、資料の使用		
3	微生物 真菌、細菌、ウイルス、プリオン		テキスト、資料の使用		
4	洗浄、消毒と滅菌（洗浄・消毒・滅菌の違いとその特徴）		テキスト、資料、消毒薬見本の使用		
5	洗浄、消毒と滅菌（消毒・滅菌の方法と使い分け）		テキスト、資料、消毒薬見本の使用		
6	免疫学 免疫機構、抗原と抗体、免疫性疾患、アレルギー		テキスト、資料の使用		
7	免疫学（ワクチンの種類／ワクチンで予防できる感染症／ワクチン接種プログラムと副反応）		テキスト、資料の使用		
8	感染症 ウイルス①（犬の病気）		テキスト、資料の使用		
9	感染症 ウイルス②（猫の病気）		テキスト、資料の使用		
10	感染症 細菌、真菌、寄生虫①（外部寄生虫）		テキスト、資料の使用		
11	感染症 寄生虫②（内部寄生虫）		テキスト、資料の使用		
12	感染症 寄生虫③（内部寄生虫）		テキスト、資料の使用		
13	人獣共通感染症①		テキスト、資料の使用		
14	人獣共通感染症②		テキスト、資料の使用		
15	期末試験				
16	公衆衛生学まとめ				
	評価方法・成績評価基準		履修上の注意		
	成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		小テストを実施しながら理解度を確認する		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として13年勤務				

科目名	動物看護概論				
	東海林 愛美		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物病院での診療補助の概要を学び、生態を取り扱う業種において日常の健康チェックとケアの知識を習得する。				
学習目標 (到達目標)	動物の健康チェック項目、ケアの基本的な道具と方法について習得する。 動物病院での基礎的な知識を身に付け、病院に限らず、ショップ等の店舗はもちろん飼い主対応にも役立てられる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス発刊 動物看護実習テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物病院業務について 動物を看護すること		パワーポイント資料		
2	動物の保定		パワーポイント資料、ぬいぐるみ		
3	身体検査とバイタルチェック		ぬいぐるみ、聴診器、体温計		
4	消毒、滅菌		消毒液、雑巾		
5	シリンジの扱い方/投薬方法		シリンジ		
6	投薬/点眼/点耳/エリザベスカラーの装着		ぬいぐるみ、投与薬		
7	検体処理(尿、便、血液)		検体		
8	尿検査		尿検査キット		
9	糞便検査(寄生虫卵検査)		寄生虫卵一覧表、寄生虫標本		
10	血液検査(塗抹作成と白血球分類)		塗抹見本		
11	レントゲン検査(ポジショニングと防護)		ぬいぐるみ		
12	手術準備(手術器具名称)		手術器具		
13	マイクロチップ		マイクロチップ見本		
14	受付業務(証明書発行)		ワクチン証明書、カルテ		
15	まとめ				
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			動物病院への就職も視野へ入れて幅広く知識を身につける		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として13年勤務				

科目名	グルーミング理論				
担当教員	稲田 巴美		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	グルーミング実習を行う上でのグルーミングの目的、流れ、道具名、使用方法を学ぶ。 グルーミングを行う上での注意点を理解する。また、犬種についての知識も学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	犬種への理解を深め、犬種ごとに必要なグルーミング方法を選択できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	インターズー ドッグ・グルーマーズ プロフェッショナル・ワークブック インターズー 最新犬種図鑑				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	グルーミングの目的、トリマーの心構えについて				
2	シャンプー剤の知識、グルーミングの流れ・注意点①				
3	グルーミングの流れ・注意点②、道具の使い方				
4	スタンダードの理解、体表の生理				
5	犬種について 1G、2G、3G		各グループの中の代表犬種について学ぶ		
6	犬種について 4G、5G、6G				
7	犬種について 7G、8G、9G、10G				
8	期末試験				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップでトリマーとして3年勤務				

科目名	グルーミング実習				
担当教員	広川 美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物のプロとして必要な日頃のケアについて学ぶ。グルーミングの流れ、注意点について学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	グルーミングの流れを理解し、道具を正しく使い、グルーミングが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	グルーミング実習の目的、グルーミングの流れ、グルーミング道具の名前、使い方				
2	グルーミング実習（実践） チワワ、ダックス等				
3	グルーミング実習（実践） チワワ、ダックス等		犬種ごとのグルーミング方法を学ぶ		
4	グルーミング実習（実践） バグ、ポメラニアン等				
5	グルーミング実習（実践） チワワ、ダックス等				
6	グルーミング実習（実践） プードル、マルチーズ				
7	グルーミング実習（実践） シュナウザー				
8	グルーミング実習（実践） ヨークシャーテリア				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師兼トリマー10年、「PetGrooming&Comforts」主宰				

科目名	動物園学概論				
担当教員	成島 悦雄	実務授業の有無	○		
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	動物園とは何かを学び、動物園の未来について考える 展示動物の福祉について学び考える 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	動物園の社会的存在意義を理解できる 動物園で飼育管理されている動物の生態と管理方法がわかる				
テキスト・教材・ 参考図書・その他 資料	オリジナル教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物園の歴史		座学		
2	動物園動物を飼う－飼育管理		座学		
3	動物園動物の栄養管理と展示		座学		
4	動物園動物の心と体の健康－衛生管理		座学		
5	希少動物の保全と動物園		座学		
6	動物園動物の福祉①		座学		
7	動物園動物の福祉②とテスト		座学／試験		
8	テスト解説とまとめ（これからの動物園）		試験解説		
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物園元園長、獣医師、いきもの文化研究所所長				

科目名	就職実務 II				
担当教員	中山 大輝		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかりと理解した上で就職活動を進めていく。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	春のインターンシップの反省を行い、改善し、次のインターンシップに臨むことができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動画で学ぶ 就活ナビ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	これからどう生きていくか、一生でどのくらい稼げるのか、どんな生活を送りたいか、社会はどんな人材を求めているのか		プリント		
2	チャンスを逃がさない、働く理由を考える		プリント		
3	伝わる文章の書き方、相手を納得させる論理力、構成を考える		プリント		
4	伝わる文章の書き方、相手を納得させる論理力、構成を考える		プリント		
5	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる		プリント		
6	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる		プリント		
7	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる		個人作業		
8	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる		個人作業		
9	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる		個人作業		
10	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる		個人作業		
11	業界について考える、職種について考える		プリント		
12	企業研究の仕方、志望動機の書き方		プリント		
13	企業研究の仕方、志望動機の書き方		プリント		
14	企業研究の仕方、志望動機の書き方		プリント		
15	企業研究の仕方、志望動機の書き方		個人作業		
16	企業研究の仕方、志望動機の書き方		個人作業		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			個別面談を行うこともあるので、毎回授業に出席すること。インターンシップ関係の提出物などの遅れがないようにすること。		
実務経験教員の経歴					

科目名	コミュニケーション実践Ⅱ				
担当教員	中山 大輝		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>前半はプレゼンテーションを行うことで、人前に立って話す力を養い、またその話を聞いてコメントを言える力を養う。</p> <p>後半は求職登録面接やインターンシップに向けて、どのような手順で作成をしていくかを学ぶ。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	求職登録面接、就職研修、インターンシップを通して、翌年の就職活動を意識することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	プレゼンテーション説明、準備		プリント、個別作業		
2	求職登録面接とは何か、求職票作成の仕方、インターンシップとは何か、インターンシップ申込書作成の仕方		プリント		
3	求職登録面接とは何か、求職票作成の仕方、インターンシップとは何か、インターンシップ申込書作成の仕方		プリント		
4	求職票作成、自己PR作成、面接練習				
5	求職票作成、自己PR作成、面接練習				
6	求職票作成、自己PR作成、面接練習				
7	求職票作成、自己PR作成、面接練習				
8	求職票作成、自己PR作成、面接練習				
9	インターンシップ日誌の作成の仕方、身だしなみについて		プリント		
10	インターンシップ日誌の作成の仕方、身だしなみについて		プリント		
11	インターンシップ履歴書作成の仕方		プリント		
12	インターンシップ履歴書作成の仕方		プリント		
13	履歴書作成、志望動機作成				
14	履歴書作成、志望動機作成				
15	履歴書作成、志望動機作成				
16	就職研修		インターンシップに向けての心構えと問題事例、また今後の就職活動に向けての心構えを学ぶ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			書類作成や面接練習をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。面接練習は必ず事前に準備をしておくこと。		
実務経験教員の経歴					

科目名	AAA概論II				
担当教員	山崎 恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、 授業の進め方	動物介在活動と動物介在療法を理解することができる。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	一般社団法人アニマル・リテラシー総研が提示するプログラム課程を理解することができる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	一般社団アニマル・リテラシー総研 動物介在介入(AAI)の基礎知識_失敗しない活動のために				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	AAA/AATとは		P1-8		
2	癒しとは		P9-10		
3	AAIリスク管理		P11-13		
4	AAIリスク管理		P11-13		
5	AAIの歴史		P14-17		
6	AAIの歴史		P14-17		
7	AAIが活用されている場所 高齢者		P18-21		
8	AAIが活用されている場所 こども		P22-23		
9	AAIが活用されている場所 精神科		P24		
10	AAIが活用されている場所 ホスピス・緩和ケア		P25-26		
11	動物の適性①		P27-28		
12	動物の適性②		P27-28		
13	ボランティアの適性①		P29-30		
14	ボランティアの適性②		P29-30		
15	期末試験				
16	施設評価①		P31		
17	施設評価②		P31		
18	AAIの実施者①		P34-36		
19	AAIの実施者②		P34-36		
20	終末医療と飼い主対応		特別講義		
21	シェルターワーク・シェルターメディシン		特別講義		
22	プレゼンテーション①				
23	期末試験				
24	プレゼンテーション②				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全ての授業に出席すること。			
実務経験教員の経歴	一般社団法人アニマル・リテラシー総研理事				

科目名	AAA実習 II				
担当教員	青木 和孝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係と心理学的および社会的側面から理解し、実際の高齢者施設へ動物達を連れて訪問する 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	安心、安全な訪問活動を心掛け、高齢者のQOL向上の1つとして訪問活動を実施できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	職員作成パワポ資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	訪問活動に向けて事前授業		パワポ資料		
2	訪問活動に向けて事前授業		パワポ資料		
3	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
4	サイトアセスメント		施設への事前確認を見学		
5	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
6	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
7	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
8	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
9	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
10	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
11	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
12	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
13	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
14	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			参加動物の参加の可否の判断を含め適切に対応できるよう状態把握のための観察力を身につける。それを元に動物の行動管理を適切に行い、施設対象者に対しても適切にコミュニケーションが取れるスキルを身につける。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として20年勤務中				

科目名		AAA実践 I			
担当教員	山下 静香		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	訪問活動で必要となる「伝える力」を意識し、クラスメイトとのチームコミュニケーションを身につけ、自分自身がAAA実習を楽しんで参加できるように事前学習を行う。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	自分自身も動物も、楽しく前向きに活動に参加することができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	[参考図書] 中央法規 認知症の人とのコミュニケーション、教員作成資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業概要の説明、伝えることの難しさ		配布プリントにて書き込み		
2	認知症の人とのコミュニケーション		配布プリントにて書き込み		
3	認知症の人とのコミュニケーション		配布プリントにて書き込み		
4	認知症の人とのコミュニケーション		配布プリントにて書き込み		
5	認知症の人とのコミュニケーション		配布プリントにて書き込み		
6	伝達トレーニング		ゲーム形式で体感		
7	伝達トレーニング		ゲーム形式で体感		
8	WaNファミリーのプロフィール確認		配布プリントにて書き込み		
9	紹介カードの作成				
10	紹介カードの作成				
11	紹介カードの作成				
12	紹介カードの作成				
13	AAA実習の持ち物を確認		配布プリントにて書き込み		
14	AAA実習の持ち物を確認		配布プリントにて書き込み		
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
17	AAAについての復習				
18	コミュニケーションスキルの向上				
19	コミュニケーションスキルの向上				
20	コミュニケーションスキルの向上				
21	コミュニケーションスキルの向上				
22	コミュニケーションスキルの向上				
23	AAAのシミュレーション				
24	AAAのシミュレーション				
25	AAAのシミュレーション				
26	AAAのシミュレーション				
27	AAAのシミュレーション				
28	紹介カードの作成				
29	紹介カードの作成				
30	紹介カードの作成				
31	期末試験				
32	試験返却・解説				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		学生自身が自信を持って前向きに訪問活動に参加ができるように、事前授業を行う。特に認知症の高齢者の方への話し方は工夫が必要なので、高齢者の方とのコミュニケーションの取り方を実際に体感して、訪問活動にすぐに役立てるようにする。			
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として4年勤務				

科目名 エキゾチックアニマルⅡ					
担当教員	富取 拓夢		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	<p>ペットショップで販売されているエキゾチックアニマルについて学ぶ。 飼い主に飼育方法をアドバイスできようになる。 対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	各生体の品種、習性、繁殖、病気について理解し、アドバイスが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	「愛玩動物withPETs」別冊 ペットの飼養管理				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業の導入		座学		
2	昆虫類の概要		座学		
3	エサ用昆虫について		座学		
4	爬虫類の概要について		座学		
5	爬虫類飼育に使用される器具類について		座学		
6	地表棲トカゲ		座学		
7	樹上棲トカゲ		座学		
8	地表棲ヤモリ		座学		
9	樹上棲ヤモリ		座学		
10	カメ		座学		
11	ヘビ		座学		
12	両生類①		座学		
13	両生類②		座学		
14	まとめ		座学		
15	期末試験		座学		
16	振り返り				
17	ペットとして飼育されるエキゾチックアニマル（哺乳類、鳥類）		クイズ形式		
18	うさぎ①		習性、食性		
19	うさぎ②		疾病		
20	ハムスター①		習性、食性		
21	ハムスター②		疾病		
22	モルモット		習性、食性、疾病		
23	フェレット		習性、食性、疾病		
24	チンチラ		習性、食性、疾病		
25	シマリス		習性、食性、疾病		
26	ハリネズミ		習性、食性、疾病		
27	フクロモモンガ		習性、食性、疾病		
28	創作		習性に即した飼育環境		
29	鳥類①		習性、食性		
30	鳥類②		疾病		
31	期末試験				
32	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップで販売スタッフ(観賞魚・爬虫類エリア)として4年勤務				

科目名	動物の病気				
担当教員	東海林 愛美		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	犬と猫の病気全般の機序、症状、検査あるいは治療等について理解する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	犬と猫の病気全般の機序、症状、検査あるいは治療等について理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	緑書房 ビジュアルで学ぶ動物看護学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	フィラリア感染症		テキスト使用、その他資料配布、フィラリア模型		
2	先天性心疾患、後天性心疾患 血管の疾患		テキスト使用、その他資料配布		
3	関節疾患、骨折		テキスト使用、その他資料配布、DVD観賞		
4	気管・気管支疾患、肺疾患、 呼吸異常		テキスト使用、その他資料配布		
5	口腔疾患 胃腸疾患		テキスト使用、その他資料配布		
6	肝臓・膵臓疾患		テキスト使用、その他資料配布		
7	中間試験 腎臓疾患		テキスト使用、その他資料配布、前半までのまとめテスト		
8	膀胱炎 尿石症		テキスト使用、その他資料配布		
9	甲状腺、副腎		テキスト使用、その他資料配布		
10	糖尿病		テキスト使用、その他資料配布		
11	脳 脊髄		テキスト使用、その他資料配布、DVD観賞		
12	耳の疾患 眼の疾患		テキスト使用、その他資料配布		
13	子宮、卵巣、異常分娩 精巣、前立腺		テキスト使用、その他資料配布		
14	皮疹 皮膚炎		テキスト使用、その他資料配布		
15	腫瘍（乳腺、皮膚）		テキスト使用、その他資料配布		
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			解剖生理の復習、中間試験を実施し、理解度の確認をしながら進める。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として13年勤務				

科目名	動物看護実践				
担当教員	飯野 美由紀		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	1年生で履修している動物看護実践Ⅰから引き続き、より実践的に検査実習なども盛り込み、看護技術のレベルアップを図る。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●動物病院で行っている基本的な検査について、目的や方法を理解し、手技を習得できる ●手術関連業務について、準備や術前術後の看護、麻酔管理を理解し、把握することができる 				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	インターズー 動物看護実習テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業概要、獣医師・動物看護師・動物診療助手診療範囲		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
2	動物の保定、駆血		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
3	身体検査とバイタルチェック		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
4	消毒・滅菌		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
5	シリンジの扱い方、投薬方法、カルテ用語		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
6	内用薬、外用薬、投薬方法、エリザベスカラー		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
7	検体処理（尿、便、血液）		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
8	尿検査（一般、沈査）		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
9	糞便検査（直接法、浮遊法、検査キット）		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
10	血液検査（CBC、生化学、検査キット、塗抹作成）		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
11	レントゲン検査（ポジショニング、防護服）		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
12	手術準備（手術器具、リネン）		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
13	受付業務		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
14	マイクロチップ		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			1年次履修の動物看護実践Ⅰで行っていることを考慮して、より実践的な検査・看護技術を身に付ける。動物病院への就職を希望する学生も多いため、動物看護師が病院で日常的に行う手技を身に付ける。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として16年勤務				

科目名	ドッグトレーニング実習Ⅰ				
担当教員	齋藤 瑞姫		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	○犬の接点から観察、基礎ハンドリングまで行い就職後お客様や患者様の愛犬を扱う際に備える ○飼い主様が犬と豊かに過ごせるための必要になる道具を使い方含めて経験し必要性を伝える技術を磨く 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	就職時に役立つ犬の基礎ハンドリングと接客含めたコミュニケーション培う事が出来る。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩飼養管理士2級教本、セルフコーチング、犬のしつけきちんとブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	自己紹介と動機付け		実際の犬と道具を観察、確認		
2	犬の観察と道具確認と危険予測		実際の犬と道具を観察、確認		
3	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
4	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
5	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
6	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
7	実技テストとスピーチテスト		実行したしつけの確認とスピーチ発表		
8	テストのフォローバック		テストの内容の補足、解説		
9	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
10	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
11	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
12	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
13	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
14	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
15	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
16	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
17	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
18	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
19	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
20	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
21	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
22	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
23	実技テストとプレゼンテスト		実行したしつけの確認と道具を使用したプレゼンを撮影		
24	テストのフォローバック		テストの内容の補足、解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			犬が参加するので、犬に対してケガが無いような接点を実行する。道具や物資を使用しているので破損に気を付ける。		
実務経験教員の経歴	ドッグラン運営などのペットサービス企業でトリマー、ドッグトレーナーとして5年勤務				

科目名					
ドッグトレーニング実習Ⅱ					
担当教員	長谷川 あや甫		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	学校の犬で基礎的なトレーニングを行い、トレーニングを通して犬へのアプローチを学ぶ。トレーニングに関する知識習得と、実際のハンドリングを授業内で行う。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	基本的なトレーニングを通して犬とのコミュニケーションが図れるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	無し				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	犬の観察、学校の犬の情報把握、アイコンタクト、誘導、マツテ				
2	アイコンタクト、誘導、待つ				
3	マグネットで歩く、アテンションヒーリング				
4	マグネットで歩く、アテンションヒーリング				
5	誘導でオスワリとフセ、待つ、おいで				
6	誘導でオスワリとフセ、待つ、おいで				
7	マグネット&アイコンタクト→アテンションヒーリング、おいで、イスの下をくぐる				
8	マグネット&アイコンタクト→アテンションヒーリング、おいで、イスの下をくぐる				
9	アラウンド、足を後ろから跳ぶ、足とび				
10	アラウンド、足を後ろから跳ぶ、足とび				
11	アラウンド、足を後ろから跳ぶ、足とび				
12	アラウンド、足を後ろから跳ぶ、足とび 訪問活動の際に「人に近づいていく方法を考える」				
13	実技試験について				
14	それぞれの犬に合わせたトレーニング実施（マグネットでオスワリ、フセ→足の下をくぐるさせる、足の上に乗せる、手にアゴを乗せる→抱っこ練習に移行、お手の練習（カスタネットを叩くの前に）、鈴に鼻を当てる				
15	実技試験実施				
16	実技試験解説				
17	それぞれの犬に合わせたトレーニング実施（アイコンタクト→誘導、顔の横に手を出す、鼻を手の輪の中に入れる→ジェントルやケア練習の一つとして）				
18	それぞれの犬に合わせたトレーニング実施（アイコンタクト→誘導、顔の横、時間を伸ばす、8の字で歩く、アイコンタクト→ハンドラーが立ち上がる、誘導、顔の横）→時間を伸ばす、一緒に歩く、8の字を見据えて手の輪に顔を入れる：時間を伸ばす）、8の字：途中で止まり、おすわり、手の輪に顔を入れる、親指側&小指側、8の字（途中で止まり、おすわり） ゲームを体験する（フードをいくつか出せるか？Push Upゲーム）				
19	それぞれの犬に合わせたトレーニング実施（アイコンタクト、おすわりまってOK、ふせまってOK、8の字、手の輪に鼻先を入れる：両方向から、抱っこ/アイコンタクト：手を横、手を背中、誘導、手の輪に鼻先を入れる：両方向から、抱っこ、8の字、地雷ゲーム				
20	社会化のコース、脱感作&描抗条件付けについて				
21	それぞれの犬に合わせたトレーニング実施（手を背中に隠してアイコンタクト：3秒以上、8の字で歩く、手の輪っかに鼻先を入れるor抱っこ）				
22	それぞれの犬に合わせたトレーニング実施（手を背中に隠してアイコンタクト：3秒以上、8の字で歩く、手の輪っかに鼻先を入れるor抱っこ）				
23	各グループゲームの原案発表。 レールポジション				
24	ゲームのシミュレーション、スプーンリレー				
25	ゲーム発表&実践				
26	ゲーム発表&実践、サンダーシャツについて				
27	ヒールポジション、サイドポジションについてとその練習			ヒールポジション、サイドポジション、正面から手のひらを使って一回転	
28	警戒吠えについてとその対処法、おいで：正面に来る、ハンドラーが後ろに下がって呼び込む、短い距離&ロングリード使用				
29	テスト内容について、ノーズワーク（高さ、箱を重ねる、箱の中など）				
30	テスト実施				
31	実技試験				
32	実技試験解説				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技試験100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	しつけインストラクターとして25年以上活動、「PARA」主宰				

動物飼育実習Ⅱ					
担当教員	佐山 恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	1、動物種ごとの適切な食事や環境を提供できるようになる 2、犬の飼育に必要な接し方・ハンドリング・ケア方法を実践できるようになる 3、猫・小動物の飼育に必要な接し方・ケアの方法を実践できるようになる 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	正常な動物を知り、動物種ごとに適した飼育管理を実践できるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	犬の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
2	猫の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
3	ウサギの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
4	モルモットの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
5	ハムスターの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
6	犬の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
7	猫の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
8	ウサギの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
9	モルモットの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
10	ハムスターの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
11	犬の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
12	猫の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
13	ウサギの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
14	モルモットの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
15	ハムスターの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
16	犬の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
17	猫の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
18	ウサギの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
19	モルモットの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
20	ハムスターの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
21	犬の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
22	猫の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
23	期末試験		筆記と実技の試験		
24	ウサギの飼育管理の実習・フィードバック		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
25	モルモットの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
26	犬の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
27	猫の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
28	ウサギの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
29	モルモットの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
30	ハムスターの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
31	犬の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
32	猫の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
33	ウサギの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
34	モルモットの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
35	ハムスターの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
36	犬の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
37	猫の飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
38	ウサギの飼育管理の実習		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
39	期末試験		筆記と実技の試験		
40	モルモットの飼育管理の実習・フィードバック		実習(学校飼育動物を実際にお世話する)		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			1年生で学んだことを使用し環境を整えるだけでなく、散歩など動物を飼育するために必要なハンドリングやブラッシング技術の習得も目指す。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として9年勤務				

科目名	動物栄養学Ⅱ				
担当教員	稲川 祥子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	栄養学的管理が疾患の治療と健康の維持に大きく関連する疾病について各論として学ぶ。獣医師によって予後診断された中で、動物看護師が栄養学的な管理に関わられる疾患について学び、課程での最適な管理を飼い主に指導できる知識を習得する。				
学習目標 (到達目標)	疾患別の管理については、市販の療法食を活用することが多いため、その療法食の特性を理解し、獣医師の指導のもとで使用することの確認と、必ず定期的な指導のもとで使用することを周知させる必要がある。動物看護師は、獣医師の診断内容と栄養学的な内容を理解し、その疾患に関連する解剖学や生理学の知識を復習して、栄養学および食事の指導をする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	(株) EDUWARD Press発行 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 ペット栄養管理士認定試験想定問題集、その他資料配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	消化器疾患と食事管理		テキスト、資料を使用、小テスト		
2	尿石症と食事管理		テキスト、資料を使用、小テスト		
3	慢性腎臓病と食事管理		テキスト、資料を使用、小テスト		
4	肝臓病と食事管理		テキスト、資料を使用、小テスト		
5	糖尿病と食事管理		テキスト、資料を使用、小テスト		
6	慢性心臓病と食事管理		テキスト、資料を使用、小テスト		
7	アレルギーと食事管理		テキスト、資料を使用、小テスト		
8	肥満と食事管理		テキスト、資料を使用、小テスト		
9	減量プログラムの作成法		テキスト、資料を使用、小テスト		
10	がんと食事管理		テキスト、資料を使用、小テスト		
11	術後の栄養管理 強制給餌と経管・静脈栄養法		テキスト、資料を使用、小テスト		
12	関節疾患と食事管理		テキスト、資料を使用、小テスト		
13	歯科疾患と食事管理		テキスト、資料を使用、小テスト		
14	犬の認知機能不全と食事管理		テキスト、資料を使用、小テスト		
15	猫の甲状腺機能亢進症と食事管理		テキスト、資料を使用、小テスト		
16	期末評価				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			解剖生理の復習、小テストを実施し、理解度を確認する。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として5年勤務				

科目名	接客話法				
担当教員	岡田 花菜子	実務授業の有無	○		
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	隔週17W～32W
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	敬語・ビジネス用語を使いこなし、お客様へ適切な表現でプレゼンできる話法を習得する。				
学習目標 (到達目標)	お客様対応を身につけ、販売促進にも貢献できる人材になる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント対応				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	導入				
2	接客用語を学ぶ(シーンごとのお客様へのアプローチ)				
3	敬語の基礎編				
4	敬語実践編				
5	ビジネス用語を使いこなす①				
6	ビジネス用語を使いこなす②				
7	ポキャブラリーを増やす①				
8	ポキャブラリーを増やす②				
9	表現力を身につける①				
10	表現力を身につける②				
11	5W2Hで文章を作成する①				
12	5W2Hで文章を作成する②				
13	お客様へのプレゼン①				
14	お客様へのプレゼン②				
15	新規獲得話法				
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	TV局アナウンサー・結婚式場司会・講師				

科目名						ホリスティックケア概論					
担当教員		東海林 愛美		実務授業の有無		○					
対象学科		動物飼育管理学科		対象学年		2		開講時期		通年	
必修・選択		必修		単位数		4		時間数		64	
授業概要、目的、授業の進め方		ホリスティックケア・カウンセラーについてテキストを併用しながら、ホリスティックについて学ぶ。小テスト4回を各回の区切りで実施し、最終試験を実施する。									
学習目標 (到達目標)		ホリスティックケア・カウンセラーに合格できる									
テキスト・教科書・参考図書・その他資料		ホリスティックケア・カウンセラー養成講座vol.1、vol.2、DVD、プリント配布									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	ホリスティックとは ホリスティックケアと食事					テキスト、ドリル					
2	中医学養生					テキスト、ドリル					
3	中医学養生					テキスト、ドリル					
4	振り返り					テキスト、ドリル					
5	手作り食					テキスト、ドリル					
6	サプリメント					テキスト、ドリル					
7	ハーブ					テキスト、ドリル					
8	アロマセラピー					テキスト、ドリル					
9	肉球クリーム制作										
10	マッサージ (DVD視聴)					DVD					
11	マッサージ (犬に実践)					犬					
12	マッサージ (猫に実践)					猫					
13	Tタッチ (DVD視聴)					DVD					
14	Tタッチ (犬に実践)					犬					
15	まとめ					テキスト、ドリル					
16	期末試験										
17	救急救命基礎					テキスト、ドリル					
18	パッチフラワーレメディ					テキスト、ドリル					
19	猫の困った行動、予防&解決					テキスト、ドリル					
20	カウンセリング (理論とロールプレイング)					テキスト、ドリル					
21	カウンセリング実践					テキスト、ドリル					
22	まとめ										
23	試験対策										
24	ホリスティックケアカウンセラー試験										
25	レシピの考案					レシピ本					
26	調理実習 (手作り食)					調理					
27	犬の体質チェックとアドバイス実践					犬					
28	カウンセリング実践					テキスト、ドリル					
29	カウンセリング実践					テキスト、ドリル					
30	カウンセリング実践					テキスト、ドリル					
31	カウンセリング実践					テキスト、ドリル					
32	期末レポート作成										
評価方法・成績評価基準						履修上の注意					
試験100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。											
実務経験教員の経歴		動物病院で動物看護師として13年勤務									

科目名	英語・英会話				
担当教員	平石 理恵		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	英語をコミュニケーション・ツールの一つとして認識し、それを使って楽しむことができる				
学習目標 (到達目標)	家族や仕事のことなど日常的に使われる表現を理解し、情報交換ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スタディサプリ日常英会話(リクルート)				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	(レベル1)簡単なあいさつやよびかけをしたり、それに答えたりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話)1~5、文法、発音			
2	私やあなたについての簡単な紹介ができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)6~10、文法、発音			
3	あるものの名前・色・形などを言ったり、たずねたり、答えたりできる。	スタディサプリ日常英会話(英会話) 11~15、文法、発音			
4	喜びや歓迎の気持ちを表現することができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)16~20、文法、発音			
5	様子をたずねたり、答えたりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話)21~25、文法、発音			
6	連絡先をたずねたり、教えたりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話)26~30、文法、発音			
7	4桁までの数字を数えることができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)31~35、文法、発音			
8	いろいろな場面で別れの挨拶ができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)36~40、文法、発音			
9	(レベル2)過去の動作や状態を述べるができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)1~5			
10	去年の思い出についてたずねたり、話したりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話)6~10			
11	人に近況などをたずねることができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)11~15			
12	昔の日本人や日本の文化について、簡単に説明することができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)16~20			
13	自分の行動とその目的を言い表すことができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)21~25			
14	日本の観光名所や食べ物について、簡単に説明することができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)26~30			
15	筆記試験				
16	フィードバック				
17	休暇や週末の予定についてたずねたり、話したりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話)31~35			
18	天気予報を聞き取ったり、明日の天気について話したりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話)36~40			
19	(お店や学校で)相手に許可を求めることができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)41~45			
20	5桁以上の数を数えることができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)46~50			
21	日本のしきたりについて、説明することができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)51~55			
22	お店で店員とやりとりをし、サイズや値段をたずねて買い物ができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)56~60			
23	会話を始めて続けたり、終わらせたりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話)61~65			
24	人に忠告・助言をすることができる(温泉の入りのマナー)	スタディサプリ日常英会話(英会話)66~70			
25	相手を誘って時間や場所の約束をしたり、愛でに提案をしたりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話) 71~75			
26	人やものの善kんや気持ちについて説明することができる	スタディサプリ日常英会話(英会話) 76~80			
27	人にあげたり人からもらったものについてたずねたり、話したりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話) 81~85			
28	嬉しかった・悲しかった・怒ったことについてたずねたり、話したりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話) 86~90			
29	貸し借りをすることができる	スタディサプリ日常英会話(英会話) 91~95			
30	助けを申し出したり、助けを求めたりすることができる	スタディサプリ日常英会話(英会話) 96~100			
31	身近な話題について、自分の考え方を伝えることができる	スタディサプリ日常英会話(英会話) 101~105			
32	期末試験(課題)				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		1年次の授業を踏まえてより実践的な授業になる			
実務経験教員の経歴					

科目名	グルーミング実践				
担当教員	広川 美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科 アニマルセラピーコーディネーターコース 動物飼育・アニマルコミュニケーターコース	対象学年	2	開講時期	前期後半
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物のプロとして必要な日頃のケアについて学ぶ。グルーミングの流れ、注意点について学ぶ。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	グルーミングの流れを理解し、道具を正しく使い、グルーミングが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	グルーミング実習の目的、グルーミングの流れ、グルーミング道具の名前、使い方				
2	グルーミング実習（実践） チワワ、ダックス等				
3	グルーミング実習（実践） チワワ、ダックス等		犬種ごとのグルーミング方法を学ぶ		
4	グルーミング実習（実践） バグ、ポメラニアン等				
5	グルーミング実習（実践） チワワ、ダックス等				
6	グルーミング実習（実践） プードル、マルチーズ				
7	グルーミング実習（実践） シュナウザー				
8	グルーミング実習（実践） ヨークシャーテリア				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師兼トリマー10年、「PetGrooming&Comforts」主宰				

科目名	アニマルコミュニケーション				
担当教員	ローレン・マッコール	実務授業の有無	○		
対象学科	動物飼育管理学科 <small>動物飼育・アニマルコミュニケーターコース</small>	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	24
授業概要、目的、授業の進め方	英国より来日し対面授業 アニマルコミュニケーションの最先端の情報を取得				
学習目標 (到達目標)	ペットの心に寄り添い、気持ちを汲み取ることができる動物のプロを目指す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アニマルコミュニケーションの基礎知識				
2	アニマルコミュニケーションの実践				
3	デモンストレーション				
4	ペットの写真を用いたデモンストレーション				
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	The Integrated Animal				

ペットケア実習					
科目名	ペットケア実習				
担当教員	中山 大輝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科 <small>動物飼育・アニマルコミュニケーションコース</small>	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 犬、猫、うさぎ、モルモット、ハムスターの爪切り、耳掃除等の身体的ケアを実践する（シャンプーを除く） Tタッチ、リーディング、ボディラップの技法と効果を学び実践する ハーブ、マッサージ、ペットエステの効果を学び実践する 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ペット動物（犬、猫、うさぎ、モルモット、ハムスター）の身体的ケアの仕方を学び、実践できる。 ペット動物（犬、猫、うさぎ、モルモット、ハムスター）の心身のバランスやストレスサインを読み取ることが出来、状態に応じた対応や効果の期待できる施術・ケアが実践できる。 				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ペットの身体的、精神的ケアの必要性				
2	ペットの身体的、精神的ケアの必要性				
3	犬のケア用品を学びケアを実践		爪切り・耳掃除・グルーミング・シャンプーができる		
4	犬のケア用品を学びケアを実践				
5	犬のケア用品を学びケアを実践				
6	犬のケア用品を学びケアを実践				
7	猫のケア用品を学びケアを実践				
8	猫のケア用品を学びケアを実践				
9	猫のケア用品を学びケアを実践				
10	猫のケア用品を学びケアを実践				
11	うさぎのケア用品を学びケアを実践				
12	うさぎのケア用品を学びケアを実践				
13	モルモット、ハムスターのケア用品を学びケアを実践				
14	モルモット、ハムスターのケア用品を学びケアを実践				
15	期末試験				
16	期末試験解説				
17	ドッグマッサージ①		実施と実施内容を他者へ説明できる		
18	ドッグマッサージ②				
19	ドッグマッサージ③				
20	犬の体のバランス、Tタッチ実践①				
21	犬の体のバランス、Tタッチ実践②				
22	犬の体のバランス、Tタッチ実践③				
23	猫・スモールペットの体のバランス、Tタッチ実践①				
24	猫・スモールペットの体のバランス、Tタッチ実践②				
25	猫・スモールペットの体のバランス、Tタッチ実践③				
26	ハーブ①				
27	ハーブ②				
28	ハーブ③				
29	ペットエステ（バック、タフロック）				
30	ペットエステ（バック、タフロック）				
31	期末試験				
32	期末試験解説				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップで販売スタッフとして5年、動物取扱管理士として2年勤務				

科目名		グルーミング実習Ⅱ			
担当教員	広川 美紀	実務授業の有無	○		
対象学科	動物飼育管理学科 <small>動物福祉・トータルケアアドバイザーコース</small>	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数	6	時間数	192
授業概要、目的、授業の進め方	2人で小型犬のシャンプーが30分、トータル90分で終了出来るように学ぶ。 また、個体に合ったシャンプー剤や作業が出来るようになる。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	2人で小型犬のシャンプーが30分、トータル90分で終了出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	座学/合同 実習の流れ+犬の攻撃性に対処法				
2	グルーミング実習/チワワ、バグ				
3	グルーミング実習/WaNファミリー				
4	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー				
5	グルーミング実習/WaNファミリー				
6	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア				
7	グルーミング実習/WaNファミリー				
8	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬				
9	グルーミング実習/WaNファミリー				
10	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル				
11	グルーミング実習/WaNファミリー				
12	グルーミング実習/チワワ、バグ				
13	グルーミング実習/WaNファミリー				
14	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー				
15	グルーミング実習/WaNファミリー				
16	期末試験				
17	グルーミング実習/チワワ、バグ				
18	グルーミング実習/WaNファミリー				
19	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー				
20	グルーミング実習/WaNファミリー				
21	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア				
22	グルーミング実習/WaNファミリー				
23	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬				
24	グルーミング実習/WaNファミリー				
25	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル				
26	グルーミング実習/WaNファミリー				
27	グルーミング実習/チワワ、バグ				
28	グルーミング実習/WaNファミリー				
29	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー				
30	グルーミング実習/WaNファミリー				
31	グルーミング実習/WaNファミリー				
32	期末試験				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師兼トリマー10年、「PetGrooming&Comforts」主宰				

科目名	介護実習				
	新潟市社会福祉協議会	実務授業の有無	○		
対象学科	動物飼育管理学科 アニマルセラピーコーディネーターコース	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数	3	時間数	96
授業概要、目的、授業の進め方	<p>・これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形でそのような仕事を行うのかを理解できる。</p> <p>・介護を必要としている人の個性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができる。</p> <p>・生活支援技術の基本知識の学習に加え、事例に基づく総合的な演習を行うことで、体系的な知識及び技術の習得ができる。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	介護職員初任者研修の受講を修了し、資格を得る				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	団体が発行しているテキストを使用				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	職務の理解		テキスト、資料を使用		
2	介護における尊厳の保持・自立支援		テキスト、資料を使用		
3	介護の基本		テキスト、資料を使用		
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携		テキスト、資料を使用		
5	介護におけるコミュニケーション技術		テキスト、資料を使用		
6	老化の理解・認知症の理解・障害の理解		テキスト、資料を使用		
7	こころとからだのしくみと生活支援技術①		テキスト、資料を使用		
8	こころとからだのしくみと生活支援技術②		テキスト、資料を使用		
9	こころとからだのしくみと生活支援技術③		テキスト、資料を使用		
10	こころとからだのしくみと生活支援技術④		テキスト、資料を使用		
11	こころとからだのしくみと生活支援技術⑤		テキスト、資料を使用		
12	振り返り		テキスト、資料を使用		
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	介護職員初任者研修を行っている協会へ委託				

科目名		就職実務Ⅲ				
担当教員		小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科		動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択		必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方		毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかりと理解した上で就職活動を進めていく。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)		企業研究の方法を知ることができる。 企業訪問や就職試験について知ることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		動画で学ぶ 就活ナビ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	就職活動の流れ、必要書類作成について		・就職活動の基準、提出書類の種類、流れを知る ・履歴書の学歴や検定欄の更新			
2	求人検索の方法、求人票の見方		・求人検索サイトを知る ・求人票を見ながら項目ごとの意味を知る			
3	合同企業ガイダンス・会社訪問の心構え、準備		・合同企業ガイダンスへの参加に向けた準備 ・企業研究をどのように行うか知る			
4	面接のマナー、面接の形式		動画5-2～3			
5	コミュニケーションは「きく」から始まる、「話す」は「全身表現」		動画4-1～2			
6	日本語の発声法、緊張は友達、リズムカルに話す		動画4-3～5			
7	ディスカッションの基礎、筆記試験対策		動画5-4～5			
8	内定お礼状の書き方		プリント			
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			個別面談を行うこともあるので、毎回授業に出席すること。就職関係の提出物などの遅れがないようにすること。			
実務経験教員の経歴						

科目名		コミュニケーション実践III			
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	×		
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、 授業の進め方	1年次に勉強したビジネスマナーを復習し、社会人になる準備を始める。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	社会人としてふさわしい立ち居振る舞いを身につけることができる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	内定先への暑中見舞い・年賀状の書き方	プリント			
2	社会人になってからのマナー（日常のマナー）	プリント			
3	社会人になってからのマナー（日常のマナー）	プリント			
4	社会人になってからのマナー（日常のマナー）	プリント			
5	社会人になってからのマナー（身だしなみ、敬語）	プリント			
6	社会人になってからのマナー（身だしなみ、敬語）	プリント			
7	社会人になってからのマナー（備品の名称、使い方）	プリント			
8	社会人になってからのマナー（備品の名称、使い方）	プリント			
9	社会人になってからのマナー（メール、ビジネス文書）	プリント			
10	社会人になってからのマナー（メール、ビジネス文書）	プリント			
11	社会人になってからのマナー（接待）	プリント			
12	社会人になってからのマナー（接待）	プリント			
13	社会人になってからのマナー（慶弔業務）	プリント			
14	社会人になってからのマナー（慶弔業務）	プリント			
15	社会人になってからのマナー（退職）	プリント			
16	社会人になってからのマナー（退職）	プリント			
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		書類作成や面接練習をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。面接練習は必ず事前に準備をしておくこと。			
実務経験教員の経歴					

科目名	異文化研究（海外研修）				
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	異国の文化（言語、気候、風習、歴史など）を研究することで日本との違いなどを考察する。 また、実際に海外に行き異国の文化に触れることで理解を目指す。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	異国の文化について理解を深めることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	無し				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	飛行機にて移動		パスポートの申請、飛行機の搭乗を経験する		
2	現地到着、研修1日目		現地での食事、お金の支払いなどを体験する		
3	研修2日目		現地での簡単な会話を行いながら文化に触れる		
4	研修3日目		現地で様々な体験を通して文化に触れる		
5	研修4日目、日本へ帰国				
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					

科目名	ドッグトレーニング実習Ⅲ				
担当教員	中野 貴行		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	<p>○犬の接点から観察、基礎ハンドリングまで行い就職後お客様や患者様の愛犬を扱う際に備える</p> <p>○飼い主様が犬と豊かに過ごせるための必要になる道具を使い方含めて経験し必要性を伝える技術を磨く 対面授業で実施</p>				
学習目標 (到達目標)	就職時に役立つ犬の基礎ハンドリングと接客含めたコミュニケーション培う事が出来る。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩飼養管理士2級教本、セルフコーチング、犬のしつけきちんとブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
2	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
3	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
4	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
5	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
6	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
7	実技テストとスピーチテスト		実行したしつけの確認とスピーチ発表		
8	テストのフォローバック		テストの内容の補足、解説		
9	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
10	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
11	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
12	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
13	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
14	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
15	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
16	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
17	犬の観察と道具確認		実際の犬と道具を観察、確認		
18	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
19	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
20	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
21	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
22	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習		実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン		
23	実技テストとプレゼンテスト		実行したしつけの確認と道具を使用したプレゼンを撮影		
24	テストのフォローバック		テストの内容の補足、解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			犬が参加するので、犬に対してケガが無いような接点を実行する。道具や物資を使用しているので破損に気を付ける。		
実務経験教員の経歴					

科目名						ドッグトレーニング実習Ⅳ					
担当教員		長谷川 あや甫				実務授業の有無		○			
対象学科		動物飼育管理学科		対象学年		3		開講時期		通年	
必修・選択		必修		単位数		2		時間数		64	
授業概要、目的、授業の進め方		マナーハンドラーテストの合格を目指し、テストの項目についてのトレーニングを細分化しながら授業を進める。 対面授業で実施。									
学習目標 (到達目標)		マナーハンドラーテストに合格し、基本的なトレーニングを飼い主にアドバイスできるようになる。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料		マナーハンドラーテストレギュレーション									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	オスワリ、フセの誘導、誘導でヒールポジション										
2	ヒールポジション、ヒールでオスワリ、おいで										
3	ヒールポジション、ヒーリング、ヒール+Sit、おいで(呼び込み)+カラーを触る										
4	ヒールポジション、ヒーリング、ヒール+Sit、おすわり待って10秒→13秒→7秒、ふせまって10秒→15秒→9秒、足拭き 廊下でのすわる、ふせる										
5	ヒールポジション、ヒーリング、ヒール+Sit おすわり待って10秒→13秒→7秒										
6	刺激の中を歩く、おすわり待って伏せ待って、他人が触る、足拭き										
7	ヒールポジション→左手にトリーツを挟んで入れるを3回実施→トリーツを手に持たずに入れて後からトリーツを数回実施、										
8	ヒールポジションから犬の周りを一周する、ヒーリングしてターンした後にヒールポジションでオスワリ										
9	ヒールポジション、おいで(体の正面、座る、カラーを触る)										
10	刺激の中を歩く(最後はUターン+Sit)、人の手に犬が鼻をタッチ、足拭き										
11	ヒールポジション、連続タッチ&Sit,Down,H.P.、待って(後ろをまわる、HPから離れる)、										
12	マズル(手の輪に鼻を入れる)、おいで(ロングリードをつけて)										
13	ヒールポジション、連続タッチ&Sit,Down,H.P.、待って(後ろをまわる、HPから離れる)										
14	マズル(手の輪に鼻を入れる)左右の手で行う。親指側&小指側、おいで(ロングリードをつけて)おいでの言葉を教える、足拭き&ブラッシング										
15	マナーハンドラーテストのデモ(通し)を見る、要練習項目の検討										
16	それぞれでマナーハンドラーテストの自主練										
17	H.P.(手のシグナルあり。誘導なし)→おすわり待って→正面で20秒。ハンドラーはH.P.へ戻る、足拭き&ブラッシング、コの手で										
18	足拭き&ブラッシングでの対処										
19	マナーハンドラーテスト項目の通し練習:トリーツを一切使わない状態の把握、トリーツを少し使った状態の把握、苦手な項目、練習										
20	トリーツをランダムにしてい練習										
21	マナーハンドラーテスト項目通し練習、おいで(近くまで寄せる、距離を伸ばす)										
22	マナーハンドラーテスト項目通し練習、おいでの強化(リードの付け替え)										
23	教えなければいけない行動、項目間の集中をどう取るのか(タッチやスピン、ターンなど)、ツールの増やす(増やすためには行動として「教えなければいけない」)										
24	タッチ、スピンの強化、各項目練習										
25	通し練習(各グループ2~3名に分かれて項目をそれぞれ通して行う)										
26	マナーハンドラーテストの練習										
27	各項目の練習、各項目間の対応										
28	各項目の練習、各項目間の対応										
29	マナーハンドラーテストの通し(2~3名で)ウォームアップ、スピン&ターンなど										
30	マナーハンドラーテストの通し										
31	集中を戻す:各班2つ以上の新しいことを教える、環境変化の中でもすでに知っていることが出来るようにする										
32	項目間の集中を取る練習、連続で動作を行う										
評価方法・成績評価基準						履修上の注意					
マナーハンドラーテストの合格50%、レポート提出50%(テスト合格はレポート無し) 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
実務経験教員の経歴		しつけインストラクターとして25年以上活動、「PARA」主宰									

科目名	AAA概論III				
担当教員	山崎 恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	動物介在活動と動物介在療法を理解することができる。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	一般社団法人アニマル・リテラシー総研が提示するプログラム課程を理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	一般社団法人アニマル・リテラシー総研 動物の施設内飼育を考える～医療・福祉・教育施設においてペットを迎えるための指針～				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	施設内飼育利点①		P1-2		
2	施設内飼育利点②		P1-2		
3	どのような動物の種類が適性が①		P3		
4	どのような動物の種類が適性が②		P3		
5	どのような動物の種類が適性が③		P3		
6	どのような動物の種類が適性が④		P3		
7	体制づくり①		P4-6		
8	体制づくり②		P4-6		
9	体制づくり③		P4-6		
10	体制づくり④		P4-6		
11	施設内飼育問題点①		P7-10		
12	施設内飼育問題点②		P7-10		
13	施設内飼育問題点③		P7-10		
14	施設内飼育問題点④		P7-10		
15	期末試験				
16	日本の現状と諸問題①				
17	日本の現状と諸問題②				
18	日本の現状と諸問題③				
19	日本の現状と諸問題④				
20	高齢動物のケア 保定方法		特別講義		
21	動物の福祉 問題点と事例紹介		特別講義		
22	プレゼンテーション①				
23	期末試験				
24	プレゼンテーション②				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての授業に出席すること。		
実務経験教員の経歴	一般社団法人アニマル・リテラシー総研理事				

科目名	AAA特論 II				
担当教員	坂田 光子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	人と動物の絆（HAB）の理念と動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育など社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	動物介在活動と動物介在療法を理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	学校飼育動物のメリットとデメリット、改善方法		プリント		
2	学校飼育動物プレゼンテーション準備		プリント		
3	プレゼンテーション				
4	施設評価とは		プリント		
5	生命尊重教育とは		プリント		
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			2・3年生で行ってきたAAA実習の記録を用いて授業を行っていくため、AAA実習に毎回出席すること。		
実務経験教員の経歴		動物病院経営			

AAA実習Ⅲ					
科目名	AAA実習Ⅲ				
担当教員	青木 和孝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	192
授業概要、目的、授業の進め方	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係と心理学的および社会的側面から理解し、実際の高齢者施設へ動物達を連れて訪問する 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	安心、安全な訪問活動を心掛け、高齢者のQOL向上の1つとして訪問活動を実施できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	職員作成パワポ資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	訪問活動に向けて事前授業		パワポ資料		
2	訪問活動に向けて事前授業		パワポ資料		
3	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
4	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
5	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
6	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
7	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
8	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
9	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
10	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
11	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
12	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
13	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
14	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
17	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
18	サイトアセスメント		施設への事前確認を見学		
19	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
20	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
21	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
22	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
23	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
24	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
25	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
26	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
27	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
28	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
29	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
30	訪問活動 高齢者施設を訪問		バスを利用し、高齢者施設へ向かう		
31	期末試験				
32	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			参加動物の参加の可否の判断を含め適切に対応できるよう状態把握のための観察力を身につける。それを元に動物の行動管理を適切に行い、施設対象者に対しても適切にコミュニケーションが取れるスキルを身につける。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として20年勤務中				

科目名		AAA実践II			
担当教員	山下 静香		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	AAA実習の事前授業として、訪問活動に必要な技術を磨く 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●訪問活動のシミュレーションを行い、自信を持って実習に臨むことができる ●訪問活動に必要な知識・技術を磨き、より質の高い実習を行うことができる 				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教員作成資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	プレゼン発表について/プレゼン内容の構築				
2	高齢者施設の区別		プリントへ書き込み		
3	AAA実習で訪問する施設について知る		PC準備		
4	WaNファミリーのプロフィールデータ確認/紹介カード作り		PC準備		
5	紹介カード作り		PC準備		
6	紹介カード作り		PC準備		
7	紹介カード作り		PC準備		
8	学校紹介新聞を作成		手書きで作成		
9	学校紹介新聞を作成		手書きで作成		
10	学校紹介新聞を作成		手書きで作成		
11	学校紹介のパワーポイントの作成		PC準備		
12	学校紹介のパワーポイントの作成		PC準備		
13	学校紹介のパワーポイントの作成		PC準備		
14	学校紹介のパワーポイントの作成 最終段階		PC準備		
15	学校紹介のプレゼン		PC準備		
16	学校紹介のプレゼン		PC準備		
17	WaNファミリーの好きな「ごほうび」調査		PC準備		
18	カロリー計算		活動で使用するごほうびのカロリーを把握する		
19	カロリー計算		活動で使用するごほうびのカロリーを把握する		
20	子どもへの接し方				
21	子どもへの接し方				
22	子どもへの接し方				
23	高齢者への接し方				
24	高齢者への接し方				
25	後輩への引継ぎ準備				
26	後輩への引継ぎ準備				
27	動物のトリーツについて		市場調査		
28	動物のトリーツについて		市場調査		
29	動物のトリーツについて		市場調査		
30	動物のトリーツについて		プレゼン発表		
31	動物のトリーツについて		プレゼン発表		
32	まとめ				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		訪問活動はグループ内のコミュニケーション、情報共有がとても重要のため、各作業の際にはクラス内の雰囲気も確認しながら行う。 紹介カードについては、高齢者が受け取る物なので、怪我をしない工夫、見やすい工夫が必要。			
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として4年勤務				

動物飼育実習Ⅲ					
科目名	動物飼育実習Ⅲ				
担当教員	佐山 恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	1、個体ごとに適切な食事や環境を提供できるようになる 2、個体別に合わせた犬の飼育に必要な接し方・ハンドリング・ケア方法を実践できるようになる 3、個体別に合わせた猫・小動物の飼育に必要な接し方・ケアの方法を学び、行えるようになる 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	正常な動物を知り、個体ごとに適した飼育管理が実践できるようになる（その動物一頭一頭に合わせた飼育管理が実践できるようになる）				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	犬の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
2	猫の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
3	ウサギの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
4	モルモットの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
5	ハムスターの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
6	犬の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
7	猫の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
8	ウサギの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
9	モルモットの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
10	ハムスターの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
11	犬の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
12	猫の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
13	ウサギの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
14	モルモットの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
15	期末試験		筆記と実技の試験		
16	ハムスターの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
17	犬の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
18	猫の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
19	ウサギの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
20	モルモットの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
21	ハムスターの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
22	犬の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
23	猫の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
24	ウサギの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
25	モルモットの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
26	ハムスターの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
27	犬の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
28	猫の飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
29	ウサギの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
30	モルモットの飼育管理の実習		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
31	期末試験		筆記と実技の試験		
32	ハムスターの飼育管理の実習・フィードバック		実習（学校飼育動物を実際にお世話する）		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			動物種ごとだけではなく個性を持ち、動物一頭一頭に合わせた飼育管理を実践できるよう働きかける。より高度な知識・技術の習得を目指し、動物の正常と異常を判断できるようになる働きかける。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として9年勤務				

科目名	栄養管理実践				
担当教員	稲川 様子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物の一般状態から栄養状態を見極め、問題点を探りダイエットプログラムをはじめとした改善提案をしてQOL向上を目指す。 また、動物の体調や体質にあった食事・食材の提供ができることを目指す。				
学習目標 (到達目標)	問題点を明確にし、またQOL向上のための創意工夫をし、予防と治療の観点から動物の栄養管理、栄養指導を行うことができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	緑書房発行 ビジュアルで学ぶ動物看護学 エデュワードプレス発行 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書第8巻				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	栄養管理の意義 犬における栄養状態の評価の実践 (BW、BCS、BFI)		2年次の動物栄養学II復習、ノート持参、実習着、電卓、テキスト		
2	猫における栄養状態の評価の実践 (BW、BCS、BFI)		実習着、電卓、テキスト、GM道具		
3	ダイエットプログラム実践① (聴取、評価、計画、指導)		実習着、電卓、テキスト、GM道具		
4	犬用ごはんのレシピ考案		テキスト、電卓、レシピ本、調理実習計画書		
5	犬用手作りごはんのエネルギー計算		テキスト、電卓、レシピ本、調理実習計画書		
6	調理実習①		エプロン、三角巾、ハンカチ、調理実習計画書		
7	ダイエットプログラム実践② (聴取、評価、計画、指導)		実習着、電卓、テキスト、GM道具		
8	特別療法食の種類と特徴		フードメーカーによる講義		
9	幼齢期、老齢期の食事介助		実習着、テキスト		
10	ダイエットプログラム実践③ (聴取、評価、計画、指導)		実習着、電卓、テキスト、GM道具		
11	中医学的体質分類				
12	体質別食材選び				
13	ペットフードの表示と選び方				
14	犬用ごはんのレシピ考案 犬用手作りごはんのエネルギー計算		テキスト、電卓、ペットフード		
15	調理実習②		エプロン、三角巾、ハンカチ、調理実習計画書		
16	期末評価				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			カロリー計算ができない場合は1年次で履修した内容を復習しておく。調理実習ではケガや事故に注意。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として5年勤務				

科目名 SNS実習					
担当教員	中山 大輝		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	SNSや動画投稿サイトを利用し、情報発信や人を引き付けるコンテンツの作成を学ぶ。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	自身で動画やブログを作成し、投稿ができるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	SNSとは		SNSの種類について		
2	PCツールの活用について①		PowerPoint		
3	PCツールの活用について②		Excel		
4	PCツールの活用について③		Word		
5	PCツールの活用について④		ペイント		
6	Instagramについて①		フィード投稿の作成		
7	Instagramについて②		ストーリーズ・リール投稿の作成		
8	Instagramについて③		グリッド・その他		
9	AIの活用について①		ChatGPT・openAI・SunoAI		
10	AIの活用について②		CANVA		
11	AIの活用について③		CANVA		
12	AIの活用について④		CANVA		
13	AIの活用について⑤		CANVA		
14	AIの活用について⑥		CANVA		
15	前期期末課題作成		前期の授業をまとめたブログと動画を作成する		
16	振り返り		期末課題を確認しフォームを使用して投票をする		
17	動画投稿サイトのしくみ		動画投稿サイトのアカウント作成		
18	動画投稿サイトのしくみ		動画投稿サイトへの投稿の仕方		
19	動画編集について		動画編集ソフトの使い方		
20	動画編集について		動画編集ソフトの使い方		
21	動画編集について		動画編集ソフトの使い方		
22	動画編集について		動画編集ソフトの使い方		
23	動画編集について		簡単な動画作成		
24	動画編集について		簡単な動画作成		
25	動画作成		他授業で撮影した写真をつなげて動画をつくる		
26	動画作成		撮影した動画を編集し投稿する		
27	動画作成		他学科の活動を取材しに行く		
28	動画作成		撮影した動画を編集し投稿する		
29	動画作成		他学科の活動を取材しに行く		
30	アンケートフォーム作成		アンケートフォームを作成する		
31	後期期末課題作成		授業をまとめた動画を作成する		
32	振り返り		期末課題を確認しフォームを使用して投票をする		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴					

英語・英会話					
科目名	英語・英会話				
担当教員	平石 理恵	実務授業の有無	×		
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	英語をコミュニケーション・ツールの一つとして認識し、それを使って楽しむことができる				
学習目標 (到達目標)	家族や仕事のことなど日常的に使われる表現を理解し、情報交換ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スタディサプリ日常英会話(リクルート)				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	(レベル1)簡単なあいさつやよびかけをしたり、それに答えたりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話)1~5、文法、発音			
2	私やあなたについての簡単な紹介ができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)6~10、文法、発音			
3	あるものの名前・色・形などを言ったり、たずねたり、答えたりできる。	スタディサプリ日常英会話(英会話) 11~15、文法、発音			
4	喜びや歓迎の気持ちを表現することができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)16~20、文法、発音			
5	様子をたずねたり、答えたりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話)21~25、文法、発音			
6	連絡先をたずねたり、教えたりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話)26~30、文法、発音			
7	4桁までの数字を数えることができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)31~35、文法、発音			
8	いろいろな場面で別れの挨拶ができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)36~40、文法、発音			
9	(レベル3)自分の将来の希望や過去の行動について、目的を明らかにして話すことができる。	スタディサプリ日常英会話(英会話)1~5			
10	自分の不安・恐れについて表現することができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)6~10			
11	ある出来事を受けた自分の気持ちを表現することができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)11~15			
12	仮定の条件を付けて話すことができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)16~20			
13	日本の観光地についてたずねたり話したりできる(There is/are)	スタディサプリ日常英会話(英会話)21~25			
14	相手の状況を見て声をかけたり、援助を求めたりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話)26~30			
15	筆記試験				
16	フィードバック				
17	いろいろな国の地理・気候情報を説明することができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)31~35			
18	やるべきことをやったかどうかたずねたり、答えたりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話)36~40			
19	行ったことのある場所(都市、国)について話したり、たずねたりできる	スタディサプリ日常英会話(英会話)41~45			
20	継続している(クラブ)活動などについて話せる	スタディサプリ日常英会話(英会話)46~50			
21	日本の伝統行事や伝統文化について説明することができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)51~55			
22	これまでの人生であった印象的な体験について話すことができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)56~60			
23	驚きなどの感情を強調して表現することができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)61~65			
24	久しぶりに会った友人に、近況を伝えることができる	スタディサプリ日常英会話(英会話)66~70			
25	過去の出来事を時系列で説明することができる	スタディサプリ日常英会話(英会話) 71~75			
26	人にしてほしいと思っていることについて話せる	スタディサプリ日常英会話(英会話) 76~80			
27	人やものについて簡単に説明を加えることができる	スタディサプリ日常英会話(英会話) 81~85			
28	誘いを断ることができる	スタディサプリ日常英会話(英会話) 86~90			
29	人の特徴や性格、功績について描写・説明ができる	スタディサプリ日常英会話(英会話) 91~95			
30	(口論で)人お意見をぶつけ合うことができる	スタディサプリ日常英会話(英会話) 96~100			
31	知っている人やもらったものについて描写・説明ができる	スタディサプリ日常英会話(英会話) 101~105			
32	期末試験(課題)				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		1年次の授業を踏まえてより実践的な授業になる			
実務経験教員の経歴					

科目名	マネジメント実習				
担当教員	本間 亜胡		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科 アニマルセラピーコーディネーターコース 動物福祉・アニマルコミュニケーターコース	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>授業概要：動物の飼育管理に必要な物品の作成、フード準備、在庫管理を実践しながら習得する。</p> <p>授業の進め方：対面授業で実施。グループに分かれ、各担当ごとに必要な物品の管理・作成を行う。</p>				
学習目標 (到達目標)	動物にとって間接的に必要となる物品管理・補充の重要性を知り、物品の作成、フード準備、在庫管理が出来る。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動機付け&グループ分け(犬、猫&ウサギ&ハム、モルモット)				
2	物品管理&補充、休日分のフード準備				
3	物品管理&補充、休日分のフード準備				
4	物品管理&補充、休日分のフード準備				
5	物品管理&補充、休日分のフード準備				
6	物品管理&補充、休日分のフード準備				
7	物品管理&補充、休日分のフード準備				
8	物品管理&補充、休日分のフード準備				
9	物品管理&補充、休日分のフード準備				
10	物品管理&補充、休日分のフード準備				
11	物品管理&補充、休日分のフード準備				
12	物品管理&補充、休日分のフード準備				
13	物品管理&補充、休日分のフード準備				
14	物品管理&補充、休日分のフード準備				
15	物品管理&補充、休日分のフード準備				
16	物品管理&補充、休日分のフード準備				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	ドッグラン運営などのペットサービス企業で5年勤務				

科目名	コミュニケーション概論II				
担当教員	中山 大輝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科 アニマルセラピーコーディネーターコース 動物福祉・アニマルコミュニケーターコース	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	コミュニケーションの持つ力を理解しコミュニケーション能力の礎とする				
学習目標 (到達目標)	場面に応じたコミュニケーション、接遇が実践が出来る				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	"コミュニケーション"の中の"伝える"を意識する①	導入・展開・まとめを意識させ伝えることが基本			
2	プレゼン資料作成：パワーポの使い方①	パワーポイントの各タブの使い方の復習			
3	プレゼン資料作成：パワーポの使い方②	パワーポイントの各タブの使い方の復習			
4	プレゼン資料作成：話し方、立ち回り方について	資料だけでなく話し方などでも与えられる印象は変わる			
5	プレゼン資料作成：作成①	テーマに沿った資料作成・発表計画			
6	プレゼン資料作成：作成②	テーマに沿った資料作成・発表計画			
7	プレゼン資料作成：発表①	発表の実施・フィードバック・評価			
8	プレゼン資料作成：発表②	発表の実施・フィードバック・評価			
9	"ディベート"を行い、論理的な説得ができる	動物系の議題に学生同士、意見交換を行う			
10	ディベートの実施・フィードバック・評価①	動物系の議題に学生同士、意見交換を行う			
11	ディベートの実施・フィードバック・評価②	動物系の議題に学生同士、意見交換を行う			
12	ディベートの実施・フィードバック・評価③	動物系の議題に学生同士、意見交換を行う			
13	ディベートの実施・フィードバック・評価④	動物系の議題に学生同士、意見交換を行う			
14	ディベートの実施・フィードバック・評価⑤	動物系の議題に学生同士、意見交換を行う			
15	ディベートの実施・フィードバック・評価⑥	動物系の議題に学生同士、意見交換を行う			
16	授業の振り返り				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップで販売スタッフとして5年、動物取扱管理士として2年勤務				

科目名	グルーミング実習				
担当教員	広川 美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科 アニマルセラピーコーディネーターコース 動物福祉・アニマルコミュニケーターコース	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物のプロとして必要な日頃のケアについて学ぶ。グルーミングの流れ、注意点について学ぶ。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	グルーミングの流れを理解し、道具を正しく使い、グルーミングが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	グルーミング実習の目的、グルーミングの流れ、グルーミング道具の名前、使い方				
2	グルーミング実習（実践） チワワ、ダックス等				
3	グルーミング実習（実践） チワワ、ダックス等		犬種ごとのグルーミング方法を学ぶ		
4	グルーミング実習（実践） パグ、ポメラニアン等				
5	グルーミング実習（実践） チワワ、ダックス等				
6	グルーミング実習（実践） プードル、マルチーズ				
7	グルーミング実習（実践） シュナウザー				
8	グルーミング実習（実践） ヨークシャーテリア				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師兼トリマー10年、「PetGrooming&Comforts」主宰				

科目名	昆虫類・爬虫類概論				
担当教員	富取 拓夢		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科 アニマルセラピーコーディネーターコース 動物福祉・アニマルコミュニケーターコース	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>ペットショップで販売されているエキゾチックアニマルについて学ぶ。 飼い主に飼育方法をアドバイスできようようになる。 対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	各生体の品種、習性、繁殖、病気について理解し、アドバイスが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業の導入		座学		
2	昆虫類の概要		座学		
3	エサ用昆虫について		座学		
4	爬虫類の概要について		座学		
5	爬虫類飼育に使用される器具類について		座学		
6	地表棲トカゲ		座学		
7	樹上棲トカゲ		座学		
8	地表棲ヤモリ		座学		
9	樹上棲ヤモリ		座学		
10	カメ		座学		
11	ヘビ		座学		
12	両生類①		座学		
13	両生類②		座学		
14	まとめ		座学		
15	期末試験		座学		
16	テストの振り返り		座学		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップで販売スタッフ(観賞魚・爬虫類エリア)として4年勤務				

科目名						グルーミング実践Ⅱ					
担当教員		広川 美紀		実務授業の有無		○					
対象学科		動物飼育管理学科 <small>動物福祉・トータルケアアドバイザーコース</small>		対象学年		3		開講時期		通年	
必修・選択		選択		単位数		6		時間数		192	
授業概要、目的、授業の進め方		2人で小型犬のシャンプーが30分、トータル90分で終了出来るように学ぶ。 また、個体に合ったシャンプー剤や作業が出来るようになる。									
学習目標 (到達目標)		2人で小型犬のシャンプーが30分、トータル90分で終了出来るようになる。 サロントリマー検定3級合格を目指す。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料											
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	座学/合同 実習の流れ+薬用シャンプー+ゲーム										
2	グルーミング実習/チワワ、バグ										
3	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー										
4	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア										
5	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬										
6	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル										
7	グルーミング実習/チワワ、バグ										
8	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー										
9	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア										
10	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬										
11	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル										
12	グルーミング実習/チワワ、バグ										
13	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー										
14	グルーミング実習/チワワ、バグ										
15	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー										
16	期末試験										
17	グルーミング実習/チワワ、バグ										
18	グルーミング実習/チワワ、バグ										
19	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー										
20	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア										
21	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬										
22	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル										
23	グルーミング実習/チワワ、バグ										
24	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー										
25	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア										
26	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬										
27	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル										
28	グルーミング実習/チワワ、バグ										
29	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー										
30	グルーミング実習/チワワ、バグ										
31	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー										
32	期末試験										
評価方法・成績評価基準						履修上の注意					
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
実務経験教員の経歴		動物病院にて動物看護師兼トリマー10年、「PetGrooming&Comforts」主宰									